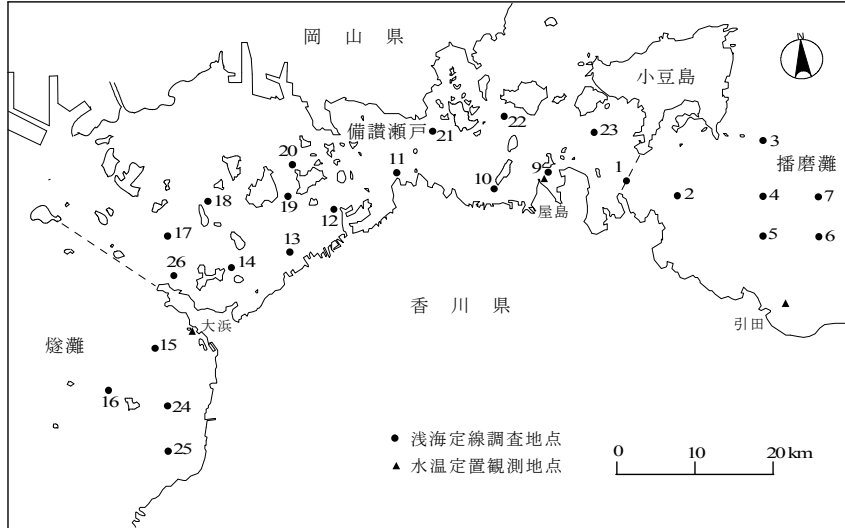


# 香川県漁海況速報 平成21年2月(H20-11号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成21年2月3日(播磨灘)、2日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温(°C)			塩分(PSU)			透明度(m)	溶存酸素(ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	10.1	10.1	9.9	33.3	33.3	33.4	9.9	6.09	6.12
	平年値	9.3	9.3	9.2	32.7	32.7	32.8	8.9	6.42	6.35
	平年偏差	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	1.0	-0.33	-0.23
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	10.2	10.2	10.2	33.5	33.5	33.5	7.5	6.14	6.00
	平年値	9.1	9.1	9.1	32.8	32.8	32.8	6.0	6.38	6.38
	平年偏差	1.1	1.1	1.1	0.7	0.7	0.7	1.5	-0.24	-0.38
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	9.9	10.2	10.3	33.1	33.5	33.5	7.8	6.44	6.32
	平年値	9.9	9.9	9.9	33.0	33.0	33.1	7.5	6.52	6.47
	平年偏差	0.0	0.4	0.4	0.2	0.4	0.4	0.3	-0.08	-0.15
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差＝平均値－平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年(1973)1月～平成13年(2002)12月

溶存酸素：昭和48年(1973)2月～平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み

$0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$ ：標準偏差)

やや高め(やや低め)

$0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め(かなり低め)

$1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め(著しく低め)

$2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

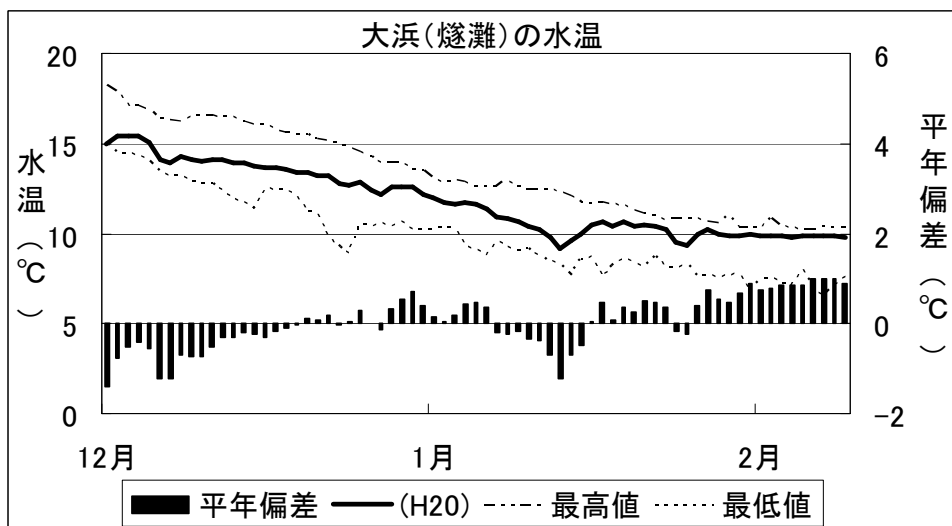
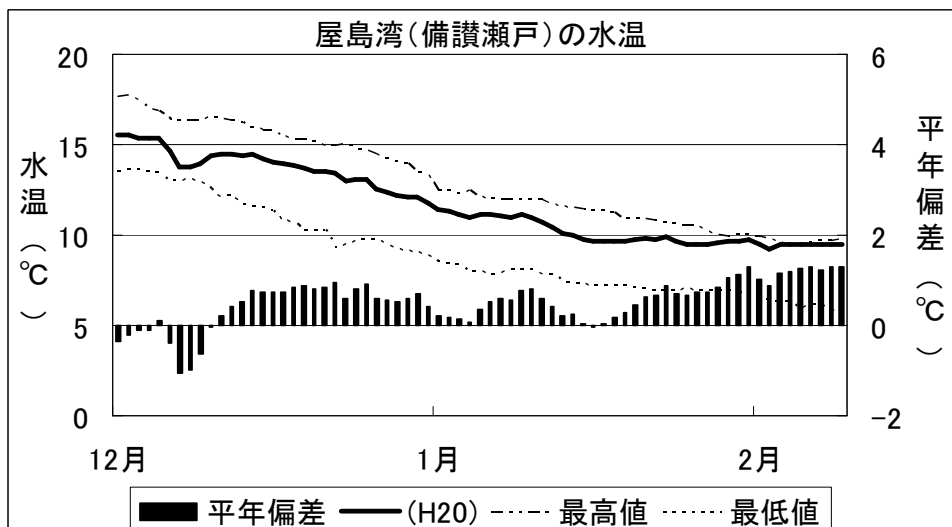
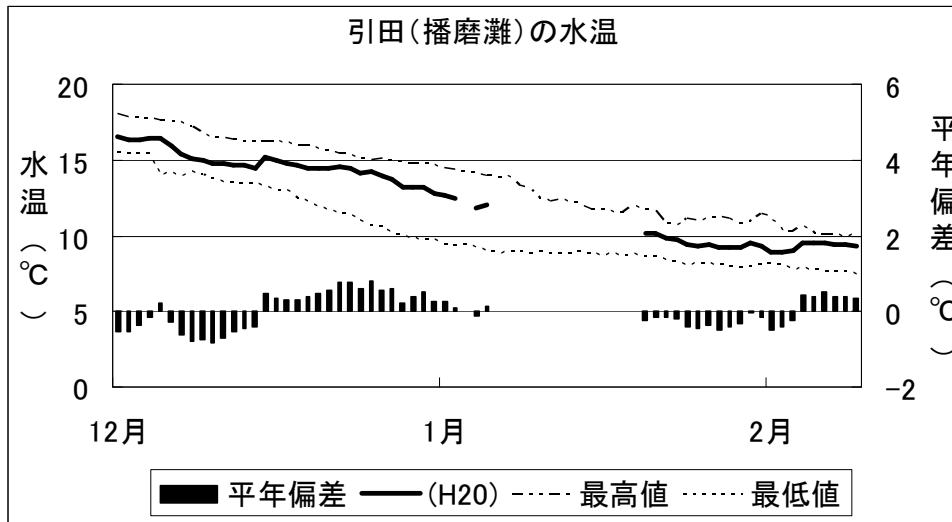
### 3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 1月下旬はやや低めから平年並み、2月上旬はやや低めからやや高めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 1月上旬は平年並み、中・下旬はやや高め、2月上旬はかなり高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 1月は概ね平年並み、2月上旬はやや高めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 19 (2007) 年  
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 19 (2007) 年



#### 4) 赤潮 (1月23日~2月9日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成21年2月3日(播磨灘)、2日(備讃瀬戸、燧灘)

出現量

各調査点でイカナゴ卵の出現はなく、同稚仔の出現量は平均0.20尾/曳網(対平年値8.6%)であった。

## 2. 漁況

1月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にウシノシタ類、小エビ類、マコガレイ、マダイが漁獲されているが、低調である。 桁網では主にマアジ、マダイ、マボラ、カワハギ、マコガレイが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、カワハギ、ウマヅラハギ、マダコ、イイダコ、コウイカ類、小エビ類が漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の1月漁獲量は、前年同時期の約2分1程度の50~80Kg/隻・日程度と不漁である。 高松沖のイカナゴ込し網の1月の漁獲量は35トンで、前年の約5倍と好漁であった。
燧 灘	底びき網では主にメイタガレイ、シロギス、オニオコゼ、コモンフグ、マコガレイ、コウイカ類、小エビ類が漁獲されているが、例年に較べて小エビ類の漁獲が多い。 建網では主にマコガレイ、カサゴ、メバル、ウマヅラハギ、キジハタが漁獲されている。